

「木津川市総合防災マップ」の発行にあたって

近年、大規模な自然災害が、全国各地で発生しています。

木津川市におきましても、近い将来に発生が危惧されております南海トラフ地震や本市に最も大きな被害をもたらすと想定されております奈良盆地東縁断層帯を震源とする地震の発生は予断を許さない状況です。

また、令和元年10月に関東・東北地方等を襲いました台風19号の大水害を目の当たりにいたしますと、木津川市におきましても、市の中央を流れる木津川をはじめ、複数の天井川を有しておりますことから河川の氾濫によります甚大な浸水被害、また大雨によります土砂災害にも備えなければなりません。

こうした様々な自然災害への備えといたしまして、この度、地域ごとの災害想定や各種防災情報を掲載した「木津川市総合防災マップ」を作成いたしました。

この冊子をご覧いただきまして、お住まいの地域にはどのような危険が潜んでいるのか、ご家族で危険箇所、避難場所等を確認しあい、命を守るために「いつ、どのように行動するか、どのような備えが必要なのか」について、話し合ってください、災害に対する備えと防災意識の向上に活かしていただきたいと思います。

災害は、必ずやって来ます。今からできることを始めてください。



木津川市長
河井 規子

令和2年3月

INDEX

- 揺れやすさ危険度 1
- 液状化危険度 2
- 木津川市で想定される地震 3
- 災害に備えた家の中の準備 4
- 地震が起きたときの行動 5
- 防災行政無線・防災情報メール等 6
- 緊急地震速報・安否確認 7
- 避難指示等の伝達 8
- 避難時の心得・要配慮者への協力 9
- 土砂災害の知識 10
- 避難施設 11
- 農業用ため池の災害対応 12・13
- ハザードマップ全体区割図 14・15
- ハザードマップ詳細地図 16~45
- 浸水継続時間想定区域図 46~53
- 農業用ため池氾濫想定区域図 54~57



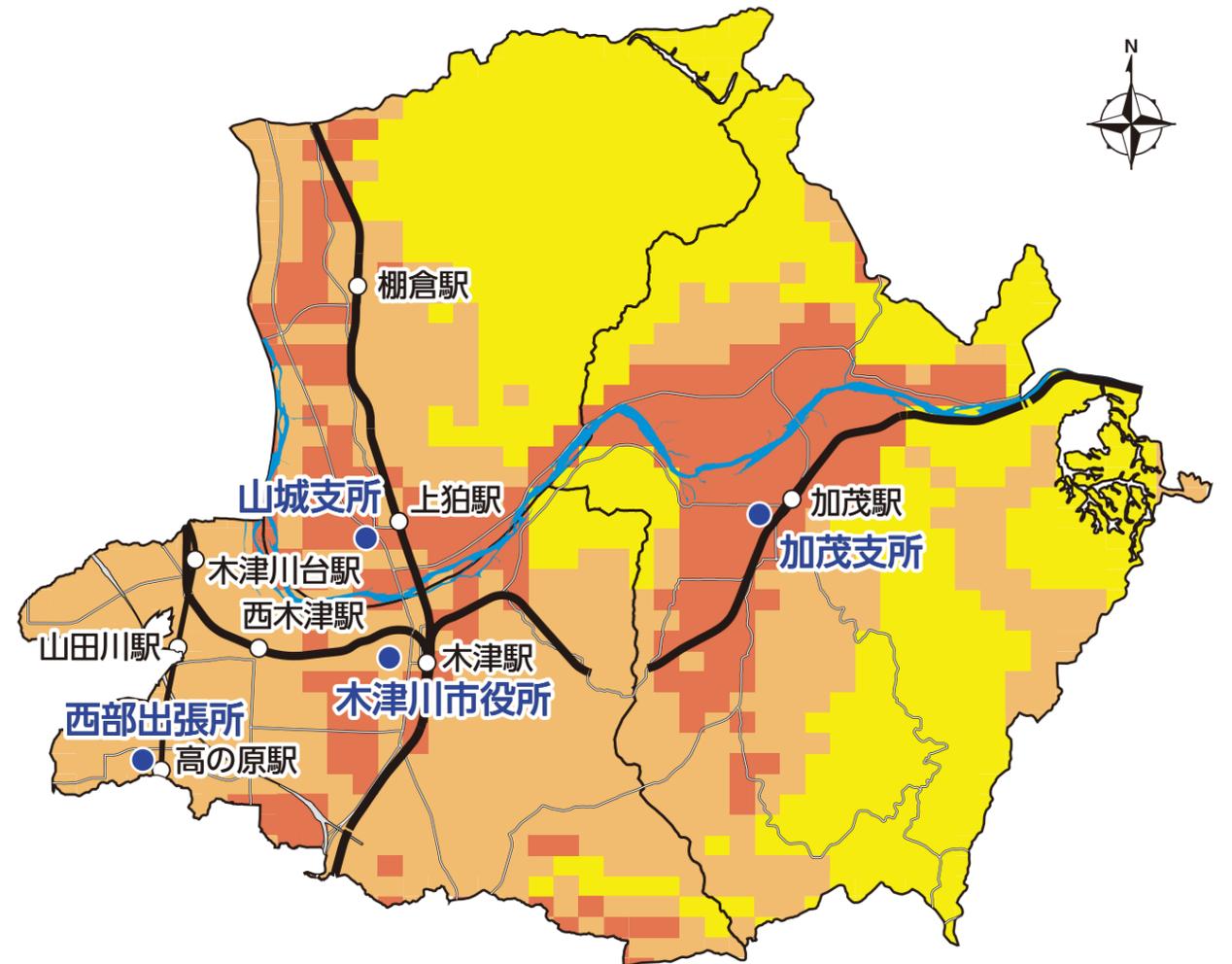
揺れやすさ危険度

揺れやすさマップ

《窓口》危機管理課 ☎0774-75-1206

京都府では、府域への影響が懸念される活断層(22断層)による内陸型地震および南海トラフ地震の地震被害想定調査が実施されています。この調査において、木津川市域に特に大きな被害を及ぼすと考えられているのは、木津川断層帯、奈良盆地東縁断層帯、和束谷断層帯の活断層で、震度

6弱～震度7程度の地震動が予測されています。また、海溝型地震である南海トラフ地震は、100～150年の周期で大規模な地震が発生しており、とりわけ発生確率が高く、近い将来確実に発生すると予測されています。



震度と揺れ等の状況

震度6弱	立っている事が困難になる。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。
震度6強	はわないと動くことができない。耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。
震度7	耐震性の低い鉄筋コンクリート建物は、倒れるものが多くなる。耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。

※地震は、市域に最も大きな被害をもたらすと想定される「奈良盆地東縁断層帯」の想定震度をまとめたものです。